

講演会の御案内

- 日時:平成20年1月18日(金)14:00～15:30
- 場所:すずかけホール 集会室2
- 講師:齊藤 英治(慶應義塾大学理工学部物理情報工学科・専任講師)
- 演題:「金属系におけるスピン流と磁気ダイナミクスとの相互作用」
 - 「電子スピン角運動量の流れである「スピン流」を利用することで、磁気構造のナノスケール制御や量子情報の低損失伝送が可能になる。スピン流を自在に操ることが、スピントロニクスの最大のテーマの一つである。一方で、スピン流を直接検出する手法は少なく、スピン流の存在は試料端や界面でのスピン蓄積を通じて間接的に伺い知るのみであった。しかし、ここ数年でこの状況は一変しており、スピンホール効果やスピントルク効果などスピン流の基本現象が次々と発見され、スピン流の電氣的検出や複雑な接合構造を用いないスピン流生成が可能になった。本セミナーでは、スピンホール効果及びスピントルク効果により磁化ダイナミクスとスピン流が結合する最も単純な系である強磁性/常磁性金属複合膜[1]や強磁性細線[2]について、最近の研究を紹介する。
[1] E. Saitoh et al., Applied Physics Letters 88 (2006) 182509.
[2] E. Saitoh et al., Nature 432 (2004) 203. 」
- 問合先:応セラ研 伊藤・谷山研究室 谷山智康(5632)